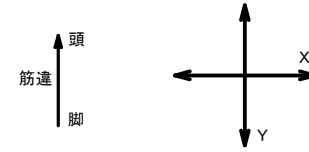
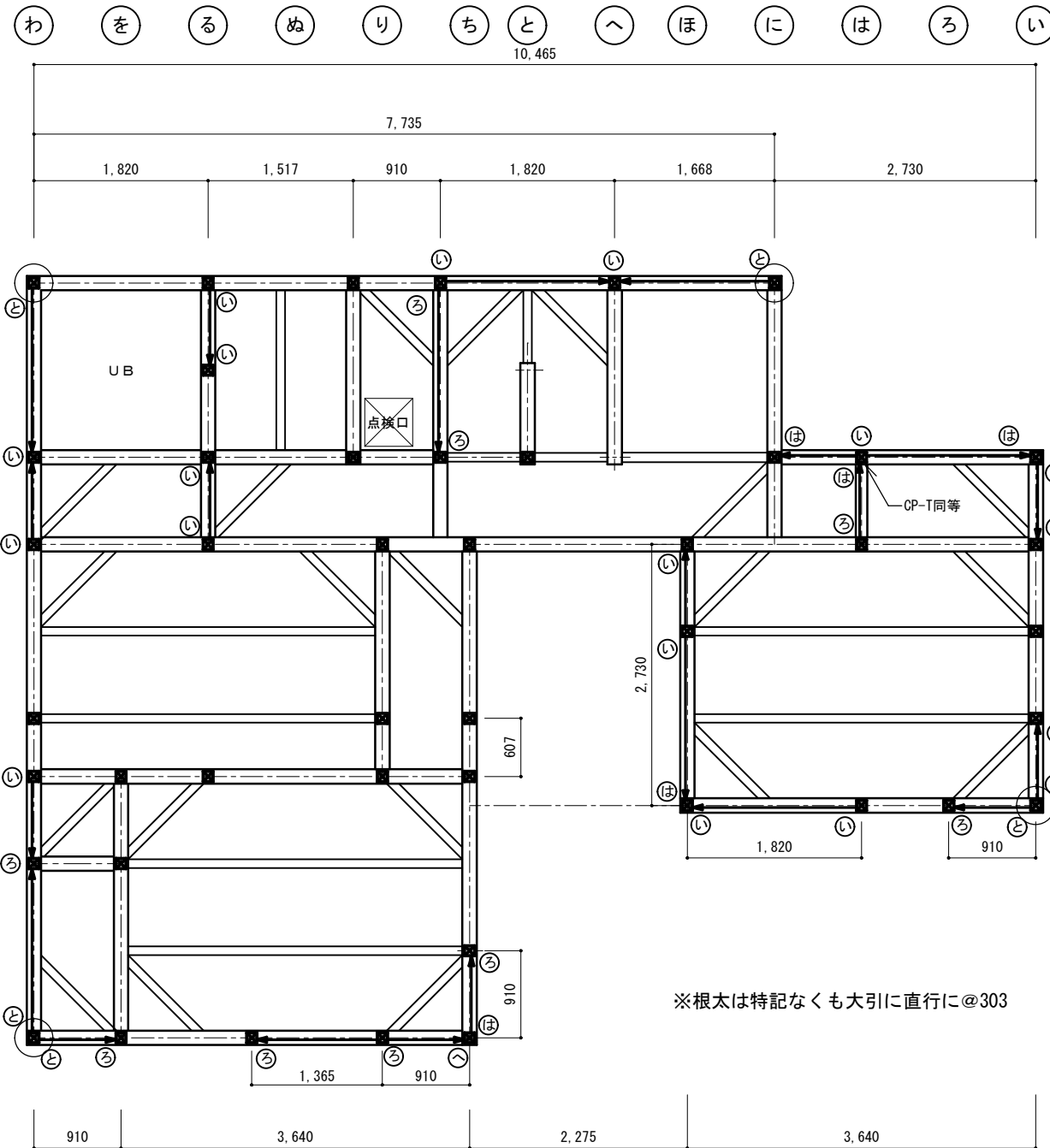
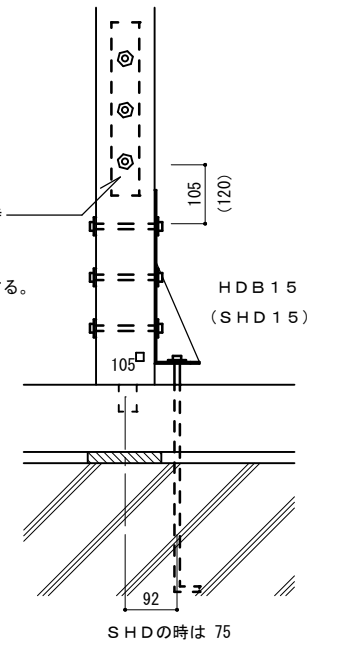


※土台+柱緊結金物で交差部内側は

CP-T同等
HW97-12-19
or
HW98-12-5
or
HW98-12-7 を使用のこと。

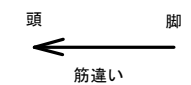
※内部交差部(ろ)は(は)にランクアップし取り付け

※出隅部の2方向H D金物取付の時
アンカー長さL:800等を使用し
貫通ボルト穴間隔は柱太さ以上とする。



吉
式
参
四
五
六
七
八
九
拾
拾壹

凡例	
---	根太 45×60 @303
---	根太掛け 105×45
/	束



- ・土台 : 105×105防腐土台使用。基礎上1mまで土台・柱共に防腐剤塗布。
- ※土台割付図を製作し基礎コンクリート打ち前に現場に連絡すること。
- ・根太 : 45×60 (桐など) 防腐剤塗布 @303 (畳下共)。
- ・根太掛け : 105×45 (桐など) 防腐剤塗布。
- ・筋違い : 90×45 (杉) 下部1m以上防腐剤塗布。
- ・間柱 : 105×33 (杉) 下部1m以上防腐剤塗布。
- ・柱 : 105×105 (杉) 一部 105×105 (桧集成) 見え隠れ下部1m以上防腐剤塗布。
- ・通し柱 : 120×120 (杉) 見え隠れ下部1m以上防腐剤塗布。
- ・胴縁 : 45×22 (エゾなど)
- ・火打土台 : 90×45 (杉) 防腐剤塗布。
- ・束 : 90×90 (杉) 防腐剤塗布。
- ・大引 : 90×90 (杉) 防腐剤塗布。

※根太は特記なくも大引に直行に@303

※本図は柱脚部を示すが筋違柱頭部金物は柱脚部に同じ。(S/5参照)

※土台木取り(割り付け)図をアンカーボルト設置図と共にコンクリート打設前に監理者に提出すること。

※プレカット工場製作の加工図を木材加工前に提出のこと。各階共通。

※土台の座堀は行わない。アンカーの座金+ナットは土台上面で締めること。



件名	A 邸 新 築 工 事	SCALE	1/50	S 3
図名	構造図-3 1階床+柱+筋違	DATE		
デザインシステム 新田建築事務所		一級建築士事務所 東京都知事登録No. 30240 一級建築士 新田広史 建設大臣登録No. 165569		